



<ICAP4 スクリプト実行方法>

ICAP4 はマニュアルで行う作業に関して、スクリプトを使って自動的に実行及びシミュレーションできます。if then else, while, for など利用可能で、変更するためのパラメータを設定できます。tran,ac 等のような他の条件のシミュレーション実行を設定しておけます。) バッチモードで複数の回路をシミュレートする場合、これを実行できます。MS-DOS で icaps.exe を実行または実行する cir、ckt ファイルのパスを指定するために SPICE8 フォルダにファイルを保存しておく必要があります。

通常、以下の 3 つのオプションが存在します。

Option 1: グラフィクス (IsSpice4 の青いスクリーン) を消去し、ICAPS&Spice を実行する場合の記述は以下の通りです。グラフィクスを消去することにより、少なくとも 10%はシミュレーションが速くなります。

```
Icaps -nographics -runspice cktname.cir
```

Option 2: グラフィクスを使って ICAPS & Spice を実行する場合の記述は以下の通りです。

```
Icaps -runspice cktname.cir
```

Option 3: 同時に複数のシミュレーションを実行するためには 2 つ手順が必要です。指定したプログラムパスで ICAPS を実行します。ICAPS でライブラリと parameter passing(詳細は IsSpice4 user' guide 参照)を備えています。

```
Icaps -automode cktname1.cir  
Icaps -automode cktname2.cir  
etc....
```

次に実シミュレーションを行うために指定したプログラムパスで Spice4 を実行できます。
/NA オプションを使うことによって一度に 1 つ以上のシミュレーションを実行できます。

```
Spice4 /NA cktname1.ckt  
Spice4 /NA cktname2.ckt  
etc....
```

バックグラウンドで cktname1.ckt のためのシミュレーションを開始します。
それが実行されている間、 cktname2.ckt 等のための次のシミュレーションを実行できます。

通常 SNet5 を使用して回路を生成でき、User Statement フィールド内で ICL コマンドを使用できます。cir もしくは.ckt ファイルを生成するには、そのドローイングファイルを一旦シミュレートすることによって、それは可能です。

シミュレーション後、すぐに Esc キーを押す、あるいは IsSpice4 シミュレーションをすぐにストップするためにすぐに IsSpice4 スクリーンの左上をダブルクリックして下さい。





以下はバッチファイルの例題です。

テキストエディタ等でこのように記述し、ファイルの拡張子を **bat** として保存して下さい。その後、DOS プロンプトでそのバッチファイル実行できます。

```
c:\¥spice8¥Icaps.exe -runspice C:\¥spice8¥Examples¥74als00a.cir
c:\¥spice8¥Icaps.exe -nographics -runspice C:\¥spice8¥Examples¥beads.cir
c:\¥spice8¥Icaps.exe -automode C:\¥spice8¥Examples¥cap5.cir
c:\¥spice8¥Icaps.exe -automode C:\¥spice8¥Examples¥cap6.cir
c:\¥spice8¥Icaps.exe -automode C:\¥spice8¥Examples¥cap7.cir
c:\¥spice8¥is¥spice4.exe /NA C:\¥spice8¥Examples¥cap5.ckt
c:\¥spice8¥is¥spice4.exe /NA C:\¥spice8¥Examples¥cap6.ckt
c:\¥spice8¥is¥spice4.exe /NA C:\¥spice8¥Examples¥cap7.ckt
```

結果ファイルは.out ファイル内にあり、**Scope5** でそれを確認できます。
この時、テストポイント(.print)の箇所のみ表示されます。

